

尾道市立因島南小学校

〒722-2323
尾道市因島土生町1372番地1
電話 0845-25-6767

因島南小は「思考力・判断力・表現力を育む」授業づくりを目指しています。児童が主体的に学び・考えたことを表現するために、児童が課題解決の見通しを持って思考するプロセスを大事にしています。

総合的な学習の時間

第5学年

目指す資質・能力 【コミュニケーション能力】【自己への自信】

「つながる人と人、つながる因島」～水軍太鼓にチャレンジ～

【単元の概要】

村上水軍・水軍太鼓について地域で活躍されている方々に教えて頂いたり、水軍太鼓を体験したりすることを通して、郷土の歴史や伝統に対する愛着を高め、因島南小学校水軍太鼓を創りあげる。

◆単元の目標

年間を通して、因島地域の伝統文化を伝承していくための課題を設定したり、自分達の力で地域の伝統文化を残していこうとする実践力を高めたりする。

◆単元の計画（全46時間）

学習過程	指導のポイント■ 各教科等との関連【】
【情報の収集・課題の設定（2時間）】 ・1学期に村上水軍や水軍太鼓について調べたことを想起する。インターネットや図書資料では、集めたい情報に限界があることから、学習計画を立て直す。	■1学期にインターネットや図書資料、身近な方へのインタビューなどで情報収集をさせておき、これらの方法では、十分な情報が集められない経験をさせておく。 【社会科】「情報化した社会とわたしたちの生活」の学習の際に、上記内容を想起させる。
【情報の収集（4時間）】 ・ゲストティーチャーを招き、村上水軍・水軍太鼓についての歴史を学ぶ。	■因島水軍まつり実行委員の方をお招きして、村上水軍や水軍太鼓についてお話をいただいたり、知りたいことを質問したりする。 【道徳】「和太鼓調べ」の学習内容を想起させる。
【情報の収集・整理（8時間）】 ・ゲストティーチャーを招き、太鼓の種類やリズム等が示す意味や情景を学んだり、太鼓を叩いたりする。	■ゲストティーチャーに水軍太鼓の演奏の仕方等の基本を学ぶ。また、太鼓を置く陣形やリズムが表す情景等について学ぶ。 【音楽科】「日本の音楽・世界の音楽」の学習を想起させる。
【まとめ・実行（10時間）】 ・ゲストティーチャーと共に、水軍の出陣や帰陣の際の跳楽舞の情景を想像しながら、水軍太鼓を練習する。（太鼓・しめ太鼓・篠笛・ホラ貝）	■太鼓以外の楽器の演奏の仕方を学び、指導頂いた水軍太鼓を演奏する。 ■因島南小オリジナルの水軍太鼓のイメージをもたせる。
【振り返り・課題の設定（4時間）】 ・ゲストティーチャーから学んだ事を元に、因島南小水軍太鼓をどのように創るか計画を立てる。	■これまでの学習を振り返り、教えて頂いた水軍太鼓を基盤に、因島南小オリジナル水軍太鼓を創るための学習計画を立てる。 ■来年度の運動会での「跳楽舞」で地域の方にもみて頂くように計画をたてる。 【国語科】「意見と理由を聞き取ろう」の学習を想起させる。
【整理・分析・創造（14時間）】 ・因島南小水軍太鼓を創るために、太鼓の並びや演奏の構成などを考える。また、考えたことをゲストティーチャーに見ていただきながら、伝統文化と因島南小オリジナルとの融合を図る。	■因島南小オリジナル水軍太鼓・跳楽舞を創っていく。自分達のアイディアとゲストティーチャーのアドバイスを取り入れながら、演目を創造する。

【実行・振り返り（４）時間】

・因島南小水軍太鼓を下級生に披露する。また、次年度運動会の跳楽舞で、地域にも披露する。

■ 6年生を送る会で、卒業生や下級生に学びの成果としての因島南オリジナル水軍太鼓を披露する。

■ 自分達が6年生になったときの運動会で、どのような水軍太鼓・跳楽舞にしたいか、見通しをもたせる。